

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数：14

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進		340-1	金栗四三PR事業	企画経営課
		(1)インバウンド事業の推進	341-1	市民会館管理事業	管財課
		(5)6次産業化の推進	345-1	6次産業推進事業	ふるさとセールス課
			340-3	玉名ブランド推進事業	ふるさとセールス課
			340-4	マスコット管理事業	ふるさとセールス課
			340-6	施設等管理運営事業	ふるさとセールス課
			340-7	草枕の里事業	ふるさとセールス課
			340-8	イベント誘客事業	ふるさとセールス課
			(1)インバウンド事業の推進	341-2	受け入れ態勢整備事業
		340-9		地域づくり事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-3	情報発信事業	ふるさとセールス課
		(2)着地型観光商品開発の推進	342-2	協議会等連携・支援事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-4	インバウンド推進事業	ふるさとセールス課
		(4)玉名版DMOの構築	344-1	玉名版DMO構築事業	ふるさとセールス課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 金栗四三PR業務	各種イベント等に出展し、金栗氏及び玉名市をPRする。	出展回数	回	12	43	31	10
② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務	大河ドラマ館(仮称)の運営や地域を盛り上げる施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	2	16	13	3
③ 玉名市、和水町、南関町協議会業務	玉名市・和水町・南関町が金栗四三氏を核とした一体的なPRを行うため、施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	9	8	10	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(市民)	67242	66850	66319		65817	
投入コスト合計(千円)	17,293	427,614	272,409		30,939		
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	6	4		0		
コスト評価(対前年比)	***	4.02%	(↓)	155.73%	(↑)	873.80%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 観光入込客数	交流人口の増加人数(入込観光客数)	人	2500000	2500000	2500000	2500000
			1707834	2243733	2435622	
2						
* 成果未達成時の理由		大河ドラマ「いだてん」の放送年であり、多くの来訪客を期待したが、金栗四三氏の知名度がいまままでのドラマの主人公と比べ低かったこと、ドラマの内容がこれまでの歴史ものとは違ったため、歴史ものに慣れたコアなファンとの離反を招き、さらに時代を駆け				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 機運の醸成と地域振興が目的のため ) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	いだてん大河ドラマ館前広場及び小田地区などを活用したイベントの実施により、いだてん大河ドラマ館、金栗四三翁住家・資料館へPRを行い、誘客を図った。また、引き続き、1市2町と連携し、県内外でのブース出展を行ったほか、CM製作やラジオ放送などでも金栗四三氏及びふるさと玉名のPRを行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今回の取組みを一過性に終わらせないために、大河ドラマ(金栗四三)のレガシーを活かして、地元の小田地区や玉名市歴史博物館こころピアと連携を図りながらPRを行っていくとともに、これまでに培った様々な「絆」を活かし、強い志をもって魅力溢れるまちづくりに取り組む。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 金栗四三PR事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	成果指標である「交流人口」は、大河ドラマを実施した様々な取組を精力的に実施した結果、目標数値にはわずかに及ばなかったものの、事業スタート時と比較して大きく伸びていることから、金栗四三と熊本県玉名市の知名度は一定程度高まったと考える。今後も金栗四三のレガシーを活かした取り組みを継続し、多くの分野に広げることが必要。	評価責任者 石貫 誠哉
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市民会館指定管理業務	指定管理協定に基づく負担による修繕を行う。	修繕件数	箇所	1	1	2	0
② 市民会館維持管理業務	市民会館を効率的に安全で快適に使用できるように指定管理者に管理運営させる。	開館日数	日	360	360	322	269
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(市民会館利用者数)	110727	107686	91318	91318
投入コスト合計(千円)	39,889	39,684	45,426	50,911
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	1
コスト評価(対前年比)	***	97.76% (↓)	74.08% (↓)	89.23% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 市民会館利用者数	市民会館を利用した年間延利用者数	人	106567	110727	107686	91318
2			110727	107686	91318	
* 成果未達成時の理由		全体的な利用者の減少傾向があったが、3月の新型コロナウイルス感染症対策のための休館措置により決定的となった。				

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和2年度からも引き続き玉名自治振興公社による3年間の指定管理となった。新ホールが共用開始になり、今まで以上に利用者の満足度向上、積極的な企画及び周知広報活動を求めていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民会館の指定管理委託先の運営を管理しながら、相談事項は協議を行い、適切な運営を行った。令和2年度からの新たな指定管理の手続を非公募で行い、議会の承認を得た。	評価責任者 木村 隆宏
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 研究開発事業	補助金を交付することにより6次産品の開発を支援する。	補助金交付件数	件	6	9	6	10
② 販路開拓事業	市場調査(テストマーケティング)の場の提供、販路開拓(商談)支援	販売会の開催、商談会での支援回数	回	17	10	9	5
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(6次産業に取組む市内の農林漁業者(1次生産者))	19	20	20		20	
投入コスト合計(千円)	12,857	12,763	7,974		10,049		
対象1単位あたりのコスト(千円)	677	638	399		502		
コスト評価(対前年比)	***	106.04%	(↑)	160.06%	(↑)	79.35%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	70000	50000	50000	50000
			50683	45765	49972	
2 6次産業推奨品認定数	市が推奨品として認定した商品数	品	3	5	5	5
			0	2	0	

\* 成果未達成時の理由 類似する商品の中で販路を開拓し売り上げにつなげるのは難しく、すぐに結果がでるものでもない。事業者が高齢化しているため事業を縮小している事業者もいる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 1.50 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	新たに策定した第4期推進計画では、補助金の対象者を1次事業者だけでなく、農商工連携をする2次、3次の新商品開発の事業者も対象者とした。補助金は機械購入は認めず、1件当たり30万円を限度とした。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	第4期計画では補助金の対象となる事業者を拡大し、1事業者当たりの上限額が3年間で500万円から年に30万円に減額となる。既存の事業者を中心に商品の磨き上げなどの支援を続ける。			
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	本年度については事業所を対象とした勉強会などを開催するなどの第4期推進計画の策定計画はあるものの、補助申請者も減少傾向にあることから、今後の方向性について検討する必要がある。	評価責任者 <b>津川 隆一</b>
--------------	---	-----------------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名ブランド物産PR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数	回	4	6	5	3
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	参加業者の件数	件	16	32	20	20
③ オリジナルロゴマーク管理事業	オリジナルロゴマークの作製及び使用申請の審査・許可を行う	作製及び審査件数	件	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(ブランド物産協会会員)	32	32	32	32
投入コスト合計(千円)	10,460	11,026	9,965	9,112
対象1単位あたりのコスト(千円)	327	345	311	285
コスト評価(対前年比)	***	94.87% (↓)	110.65% (↑)	109.36% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 ブランドの知名度	物産展での集客人数	千人	—	1700	1700	90
			1645	1690	1802	
2 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	2500	3000	4600	2500
			3211	4581	3553	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント自粛で、イベントを中止したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	予定どおり広島でのPR事業は令和元年度をもって終了した。大阪は会場費が年々上がっているため、会場を全面から半面に変更し、予算内で実施した。内容も集客のため大阪くまモン隊と日程を調整し、ステージイベントなども実施した。ブランド認定品の見直しについては検討を行っている。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	渋谷フェスティバル(東京)のPR事業及びひふくろ(熊本市)の物産展事業は現状のまま継続する。 大阪でのフェアは会場費が年々上がっており、現在の規模で実施するために、大阪以外の会場も検討していく。 ブランド認定品については、玉名ブランド物産協会や6次産業事業者などの事業者をとりまとめて参画事業者を募り、参画事業者による新たな地域ブランド事業を立ち上げる。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	玉名ブランドを中心に玉名市の物産品のPR及び販路拡大については、事務事業の見直しとともに、既存の物産展のあり方や費用対効果の再検証が必要である。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	88	83	66	60
② 玉名市マスコット商標登録業務	特許庁へ商標の登録申請を行う。	申請件数	件	***	***	2	***
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者)	88	83	66
投入コスト合計(千円)	4,538	4,087	3,203	3,190
対象1単位あたりのコスト(千円)	52	49	49	53
コスト評価(対前年比)	***	104.73% (↑)	101.46% (↑)	91.28% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 マスコット使用許可件数	マスコットの使用を許可した年間件数	件	50	30	50	30
			33	64	34	
2 認知度向上	市外出動件数	件	—	20	30	20
			17	31	26	

\* 成果未達成時の理由 担当職員の負担の軽減のため、イベントの内容を精査して参加したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	庁内で使用するマスコットの使用については、担当課で対応してもらい、外部からの依頼は内容を精査するなど、当課での対応を軽減させた。 また、庁内使用のマスコット利用申請をシステムでの予約に変更し、紙媒体での申請を中止した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	事務負担軽減のため、画像申請については簡易申請を引き続き検討する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	マスコットキャラクター「タマにゃん」は、市民ほか対外的に受け入れやすいことから、今後も紙媒体やSNS等で広く発信することで、玉名市の情報発信とともに、さらなる認知度向上につなげる。	評価責任者 <b>津川 隆一</b>
----------------------	--	-----------------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 「たまらう」指定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	365	365
② 松原海水浴場事業	委託により警備・清掃を行う。	委託期間	日	40	39	41	39
③ 小岱山ふるさと自然公園事業	委託により管理を行う。	委託期間	日	365	365	365	365

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(施設利用者数(R2は目標値入力))	187850	187189	183851	185000
投入コスト合計(千円)	37,389	41,972	40,869	36,472
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	88.77% (↓)	100.87% (↑)	112.75% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 利用者数	たまらう、松原海水浴場、小岱山ふるさと自然公園、Y・BOXの延べ利用者数	人	180000	180000	185000	185000
2			187850	187189	183851	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標値には若干届かなかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	松原海水浴場の管理については、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、それぞれの施設が指定管理であるため、積極的な協議、検討をする必要があるが、主管課となる部署が不確定であるため、協議と検討が進んでいない。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	本事業の内、松原海水浴場については、同敷地内に3施設が混在し、所管する課が3課に分かれているため、管理が一本化されていないので、指定管理者制度を主とする企画経営課を含めて一体的な管理運営の手法として、指定管理者制度の検討余地がある。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	各指定管理施設については、管理者とともに運営所の課題を拾い上げるとともに、収支や誘客につながる効果的な運営について協議、検討を重ねる。また、施設の維持管理については、さらなる地域経済の活性化につなげるため、ひとつの手法として「民営化」を視野に検討をする必要がある。	評価責任者 津川 隆一
----------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	312	310	280	310
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(来館者数(R2は目標値を入力))	6782	5737	4421	5000
投入コスト合計(千円)	10,808	9,718	10,730	14,087
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	3
コスト評価(対前年比)	***	94.08% (↓)	69.79% (↓)	86.15% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	10500	7000	6000	5000
			6782	5737	4421	
2						

\* 成果未達成時の理由 夏目漱石没後100年、栗熊120年の記念事業以降メディア・各種媒体への露出が減っていたことに加え、新型コロナウイルス感染予防のため3月より臨時休館したため来館者数が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	草枕交流館は夏目漱石や小説「草枕」の情報に特化した施設であるが、玉名市全体の観光案内所の役割を持たせるといことで、現場の職員もそのような意識で取り組み、施設を訪れる方に玉名市全体の案内を行った。民間委託については協議を続けている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き、令和5年度を目標にした民間委託に向け、地元や関係各所と十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。新型コロナウイルスの影響で施設を臨時休館したこともあり来館者数が減少しているため、来館者を増やす取り組みを検討したい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	文豪「夏目漱石」を生かした地域資源であることから、文化、歴史をいかにさらなる地域の活性化並びに観光客誘客に結びつけ、さらなる魅力ある地域づくりについて検討が必要。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名大儀まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会、執行部会の開催回数	回	15	15	11	11
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内所の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	16	16	16	16
③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	月	3	3	3	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(観光客、参加者数(R2は目標値を入力))	189373	197584	205212	210000
投入コスト合計(千円)	15,634	17,958	16,909	17,768
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	90.84% (↓)	110.30% (↑)	97.39% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 観光客数	玉名大儀まつり(14,000人)、高瀬裏川花しょうぶまつり(190,000人)、草枕ウォーキング(207人)の合計観光客数。( )内はR1年度の実績。	人	300000	250000	250000	210000
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー(夏100人、秋310人)、ウォーターサバイバルゲーム(270人)、トレイルラン(325人)の合計参加者数	人	700	800	800	1000
* 成果未達成時の理由			大儀については、レースにおいて市外を含め新規のチーム参加を呼びかけ、新たに未就学児向けの競技を実施した。グルメにおいても九州の有名グルメ店を招待し来場意欲向上に向けた取り組みを行い、まつり全体として前年より多くの来場があった。また、			

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由( 内容が受益者負担には向かない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	大儀まつりについて、競技については例年のレースの他、新たに未就学児を対象とした競技及び力目標を対象にした競技を新設し、新規参加者の獲得を図った。グルメについては、九州各県から有名シェフの店舗を招待し来場意欲の向上に努めた。花しょうぶまつりについて、九州PRキャンペーンとして宿泊施設の責任者と共に、九州中の旅行業社を対象としたキャラバンを実施した。草枕ウォーキングについて、ウォーキング中の参加者への対応や、ウォーキング後のふるまいなどを充実し、参加者の満足度向上を図った。スポーツツーリズムについて、トレランは早い段階の募集を行い、参加者数の増加を目指した。ウォーターサバイバルについては、チラシの製作を中止、SNSとポスター、新聞での広報を行った。トレラン・ウォーターサバイバル共に前年より参加者が増加、市外からの参加者の獲得に成功している。宿泊につながる		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	大儀まつりについては、昨年新たに始めた競技の課題を整理し参加者の満足度向上と新規の参加者の獲得に努める。ウォーターサバイバルについては、競技としても定着してきており、手法によっては規模拡大も見込めることから、資金面を業者と検討し、近々自走ができるよう動いていく。トレランについては、引き続き参加者の滞在時間を延ばすため、宿泊施設の協力のもと宿泊プラン等の内容を検討する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	各種イベントについては「観光」との結び付けを強化し、参加者の滞在時間を延ばす手法として、「宿泊施設プラン」や「観光案内プラン」等を構築し地域にお金が落ちる「しくみづくり」が必要である。また、既存のイベントを精査し、継続を含めた見直しを図ることで、費用対効果や事務の効率化を図る。	評価責任者 津川 隆一
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	12	10	10	10
② 地域資源を活かした受入態勢整備事業	地域資源を活かしたツアーやイベントを実施する	イベント開催回数	回	2	1	1	—
③ プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業	SNSを活用したキャンペーン等の情報発信	情報発信回数	回	***	1	13	15

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(参加者数(R2は目標地を入力))	135	218	488		500
投入コスト合計(千円)	4,796	6,086	4,316		3,899	
対象1単位あたりのコスト(千円)	36	28	9		8	
コスト評価(対前年比)	***	127.25% (↑)	315.66%	(↑)	113.42%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	人	250	250	120	500
			135	218	488	
2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	15	15	5	16
			14	15	16	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和元年度は旅行者目線での着地型観光商品開発に力を入れて、通年提供できる旅行商品のネット販売を主流とすべく、既存商品の見直しと新たな商品の開発、ネット販売の強化を図った。(通年ネット販売できる商品数をこれまでの5商品から11商品増やすことができた。)			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症の発生により、今後の旅行スタイルに変化が訪れることが予想されるため、新しいスタイルに適応した商品となるよう、今後も見直し・磨き上げを図ってきたい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	誘客を図る上ではまず、十分な受け入れ態勢の整備が必要である。そのためには、玉名観光の核となる温泉施設における「料理」、「接客」などの「おもてなし」を充実させ、お土産品や地元の特産物など新たな商品開発も行い、「顧客満足度」を上げる必要がある。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「ウイズ・コロナ」、「アフター・コロナ」時代と一緒に新たな観光スタイルの構築も必要である	評価責任者 <b>津川 隆一</b>
----------------------	---	-----------------------



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 岱明夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1
② 横島夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1
③ 天水夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(地域住民(開催回数3回))	3	3	3		3	
投入コスト合計(千円)	5,583	5,345	5,224		5,224		
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,861	1,782	1,741		1,741		
コスト評価(対前年比)	***	104.45%	(↑)	102.32%	(↑)	100.00%	(→)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 来場者数	岱明・横島・天水の夏祭りの来場者合計数	人	6700	5900	5600	5600
2			5900	5600	5600	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	平成27年度から各夏まつり実行委員会及び玉名市商工会へ補助金に頼らない自主財源の確保に努めるよう自助努力をお願いしているが、昨年からはほぼ自主財源の比率が変わっていないため指導を行った。自主財源の比率の低い岱明及び横島については、令和元年度より補助額を各50,000円づつ減額した。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	自主財源の比率は、岱明約36%、横島約31%、天水約66%である。現状各夏まつりへの補助額及び比率が一定ではないため、将来的に補助額を統一するためにもこれまで以上に自主財源の確保や事業見直しによるコスト削減による改善が必要であり、今後も検討を重ねていく。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	地域づくり事業については、事業内容が「地域再生・活性化を図るための地域振興事業」となり、事業内容も地域の「夏まつり」への補助金のみとなっていることから、県内外から誘客を図る観光振興との結びつきが薄いため、「地域振興」への事務事業の移管を検討する必要がある。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施	誘客訪問回数	回	46	50	55	55
② 観光HPPR事業	市HPIに情報掲載、民間HPIに情報提供	市HP情報掲載件数	件	99	100	100	100
③ 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント等を紹介	広告件数	件	113	115	120	120

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(観光客数(R2は目標値入力))	1707834	2243733	2435622		2500000
投入コスト合計(千円)	10,866	12,584	10,881		10,797	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0		0	
コスト評価(対前年比)	***	113.37% (↑)	125.50%	(↑)	103.47%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 観光客数	県に報告した玉名市の観光統計の入込客数	人	2500000	2500000	2500000	2500000
			1707834	2243733	2435622	
2						

\* 成果未達成時の理由 観光客数はH28年の熊本地震後の減少から徐々に回復しつつあり、インハウンドの数も順調に伸びてきていた。しかし、新型コロナウイルスの世界的な流行により今後大きな減少が予想される。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	観光パンフレットについては、大河ドラマ館の情報を盛り込み作成した。観光案内WEBサイト「タマてバコ」のQRコードも可能なものには全て印刷し、広報に努めた。「タマてバコ」については、今年度の玉名大俵まつりを俄製作の段階から撮影したプロモーション動画を追加し、内容の強化を図った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	タマてバコの広告バナー機能を活用するには、タマてバコのアクセス数を増やし、広告を出す側にとって魅力的なサイトになればならない。現在はサイトの内容、機能の強化を図っている段階であり、紙媒体と相乗効果を出せるように情報発信に努めている。新型コロナウイルス感染症の発生により、観光情報の発信の仕方に工夫が必要となってくると思われるため、検討していきたい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	情報発信については、広告媒体からSNSなどのインターネットを活用した情報の拡散が増えている。そのため、玉名市が運営する観光情報サイト「タマてバコ」は効果的であり、今後さらに内容を充実させ、アクセス数を増やすことで広告費の削減とともに、玉名市のさらなる情報発信につながる。	評価責任者 津川 隆一
----------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	3	3	4	4
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	15	14	14	14
③ 県北観光協議会事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(観光客数(R2は目標値入力))	1707834	2243733	2435622
投入コスト合計(千円)	24,046	23,875	28,009	26,638
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	132.33% (↑)	92.52% (↓)	107.88% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	2500000 1707834	2500000 2243733	2500000 2435622	2500000
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	人	110000 109496	110000 110462	110000 114083	110000

\* 成果未達成時の理由 コロナウィルス感染拡大の影響で、年度末に観光客数が伸びなかったため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	大河ドラマ「たてがみ」関係事業においては、協議会や周辺自治体との連携を強化し実施した。重複した市町構成となる協議会事業について、統廃合に向けて引き続き検討を行っている。くまもとまかもん輸出支援協議会では、展示会・商談会・フェアが6回実施された。日本遺産協議会の運営体制の検討は、令和2年度から運営の一部を玉名観光協会へ委託することとなった。		
今後の方向性 【26】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	日本遺産事業について、補助事業としては令和元年度までなので、その後の運営体制を検討していく。また令和元年度から海外販売開拓に向けて「くまもとまかもん輸出支援協議会」に参加して事業を進めている。さらに関係機関の相互連携を強化し、情報の共有を図る。コロナウィルス感染拡大に対応しながら、観光客数増加を図る。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	協議会については、数も多く趣旨や目的が類似もしくは重複した協議会事業も見受けられることから、統廃合など見直しも含め検討を行う必要がある。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① インバウンド推進事業	旅行博への出展及び現地旅行社及びメディアへの訪問	商談回数	回	4	4	5	5
② 海外販路開拓支援事業【新規 採択】	海外販路開拓に意欲のある事業者のネットワーク拡大、研修事業及び海外で開催される商談会への出展	商談会数	回	0	1	2	0
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象( 外国人宿泊者数(H30は目標値入力) )	2030	2984	3524		3500	
投入コスト合計(千円)	4,185	5,413	16,139		5,853		
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	5		2		
コスト評価(対前年比)	***	113.65%	(↑)	39.61%	(↓)	273.86%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	2500	2500	3000	3500
			2030	2984	3524	
2 海外輸出新規増加額	海外販路開拓に意欲のある事業者への聞き取り	円	0	150000	2500000	5000000
			0	147895	4915304	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	【25】 本市のインバウンドメインターゲットと定める香港と台湾からの宿泊者数がともに増加しており、これまでのプロモーションの効果が現れてきている。昨年度取組んだ海外販路開拓支援事業においても、本市の農産物や加工品が新たな取引先と取引を開始するなどの成果が現れた。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	【26】 昨年度前半までは順調に外国人宿泊客数を増加させてきたが、日韓関係の悪化や、新型コロナウイルスの影響によりインバウンド事業の先行きは不透明な状況である。日本国内の誘客と同時並行しながら、海外の状況を見極めながら今後も事業を実施していく。海外販路開拓については、メインターゲットである香港での逃亡犯条例反対に伴うデモ活動の長期化・激化や、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、順風満帆ではない中、目標を上回る増加を達成した。参画した事業者が、事業で得たノウハウやネットワークを日常的に活用し、行政は必要な時期に必要な支援を行うフェーズに移行した。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	【27】	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	インバウンド事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、今後の事業展開が不透明な状況である。そのため、日本国内の誘客への回帰とともにコロナウイルスの状況並びに海外情勢を見極めながら事業を実施する必要がある。	評価責任者	津川 隆一
【28】			



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名版DMO構築事業	インバウンドターゲット国でのマーケティングと受入体制整備	委託事業本数	本	6	6	1	1
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(玉名観光協会会員)	57	59	59		60	
投入コスト合計(千円)	27,836	22,768	5,423		5,423		
対象1単位あたりのコスト(千円)	488	386	92		90		
コスト評価(対前年比)	***	126.55%	(↑)	419.84%	(↑)	101.69%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	2500000	2500000	2500000	2500000
			1707834	2243733	2435622	
2 観光ほっとプラザたまららの販売額	販売額	円	50000000	50000000	46000000	45000000
			45991650	44900356	43157511	

\* 成果未達成時の理由 年明けからの新型コロナウイルス感染拡大を受け、観光客やビジネスなど人の動きが激減したことにより、観光客数、販売額ともに目標を下回った。観光客数については、昨年よりも増加はしたものの新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止が影

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名版DMO構築にかがる取り組みとして、着地型旅行商品や物産品の販売について、オンライン上の販売体制強化を行った。また、菊地市や山鹿市、和水町など県北地域の観光や物産に関する情報発信も強化したことで、県北地域の広域的な連携の足がかりとなる取り組みを実施することが出来た。令和元年度より「DMO専門員」を観光協会内に配置したことで、よりDMOに特化した取り組みを行う体制を整備した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	オンラインの販売体制強化や県北地域の広域連携といった面ではある程度程度の成果を残すことができたが、地元や観光協会会員の玉名版DMOに対する理解度や満足度といった点を向上させていくことが課題といえる。また、新型コロナウイルス感染拡大により観光業界への影響は甚大であり、今後の終息状況を見極めながら、観光回復期の需要の取り込みを行っていかねばならない。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、玉名市内の観光産業は低迷するなか、関係団体並びに観光協会会員とのさらなる連携を図る必要がある。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------